

<講師（コーディネーター）およびパネリストの紹介>

【講師（コーディネーター）】

慶應義塾大学大学院 教授 中村 伊知哉（なかむら いちや） 氏

1961年生まれ。京都大学経済学部卒。慶應義塾大学で博士号取得（政策・メディア）。1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。通信・放送融合政策、インターネット政策を政府で最初に担当するが、橋本行革で省庁再編に携わったのを最後に退官し渡米。1998年 MITメディアラボ客員教授。2002年 スタンフォード日本センター研究所長。2006年より慶應義塾大学教授。内閣官房知的財産戦略本部検証・評価・企画委員会座長、文化審議会著作権分科会専門委員などの委員を務める。社団法人融合研究所所長、デジタルサイネージコンソーシアム理事長、デジタル教科書教材協議会事務局長、NPO「CANVAS」副理事長、社団法人ソーシャルゲーム協会事務局長、ミクシィ社外取締役などを兼務。

著書に『コンテンツと国家戦略』（角川Epub選書）、『中村伊知哉の世紀ITビジネス進化論』（ディスカバリートゥエンティワン）、『デジタル教科書革命』（ソフトバンククリエイティブ、共著）『デジタルサイネージ戦略～電子看板最前線～』（アスキー・メディアワークス、共著）、『デジタルサイネージ革命』（朝日新聞出版社、共著）、『通信と放送の融合のこれから』（翔泳社）、『デジタルのおもちゃ箱』（NTT出版）、『日本のポップパワー』（日本経済新聞社、編著）、『インターネット、自由を我等に』（アスキー出版局）など。

【パネリスト】

ユーフォーテーブル有限会社 代表取締役 近藤 光（こんどう ひかる） 氏

アニメと一緒に徳島の「マチ」を楽しむことで地域のにぎわいを創出するイベント「マチ★アソビ」を平成21年から毎年2～3回開催し、開催期間中は国内外から多数のアニメファンが徳島に集結（前回開催時は約7万人が来場）。

香川県商工労働部観光交流局 観光振興課長 古川 京司（ふるかわ たかし） 氏

「うどん県。それだけじゃない香川県プロジェクト」として、さぬきうどんのブランド力を活用し、うどん以外の香川県の魅力をアピールするプロモーション活動を実施。

松山市産業経済部 企画官兼都市ブランド戦略課長 矢野 博朗（やの ひろあき） 氏

「だんだん松山プロジェクト」として松山の魅力を全国に発信する取組を推進しており、愛媛県出身の声優らを起用して制作した松山発オリジナルアニメ「マッツとヤンマとモブリさん」を活用する取組を実施。

高知県産業振興推進部地産地消・外商課 高知家プロモーション推進室長 浅野 尊子（あさの たかこ） 氏

高知県と一般財団法人高知県地産外商公社とが高知県振興キャンペーンである「高知家プロジェクト」として、高知県全体を「家」と見立てて温かな県民性のアピールなどで観光客誘致や移住促進等を推進。

シンポジウム終了後、四国情報通信懇談会主催で懇親会を開催します。
詳細については、参加申込みをいただいた方に、別途、四国情報通信懇談会から御案内します。

お問合せ・お申込み

四国総合通信局情報通信振興課

TEL：089-936-5061 FAX089-936-5014

（参加申込みは以下のいずれかの方法でお申込み下さい。）

①インターネットでの申込み

<http://shikoku-ict.jp/?p=4467>

上記URL（四国情報通信懇談会ホームページ）の申込みフォームからお申込み下さい。

② e-mailでの申込み

shikoku-contents@soumu.go.jp

上記アドレスに、件名を「四国コンテンツシンポジウムin道後」として、本文に氏名、所属企業・団体、連絡先（e-mailまたは電話番号）を記入の上、お送り下さい。

③FAXでの申込み

以下の参加申込書に必要事項を記入の上、お送り下さい。

申込期限：
平成26年7月1日（火）



このQRコードでスマートフォン等から四国情報通信懇談会ホームページ申込みフォームにアクセス可能です

「四国コンテンツシンポジウムin道後」 参加申込書

四国総合通信局情報通信振興課 宛
FAX 089-936-5014

氏名	所属企業・団体	連絡先（e-mailまたは電話番号）